

令和5年 7月27日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 生活

代表者 呉市立白岳小 学校

氏名 奥井京子

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））調査・研究
報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	①具体的な活動や体験を通して学ぶための工夫
方 法	○飼育単元の学習活動の流れ、住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物

発行者	調査・研究内容
東書	<p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈上〉○「いきものと なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「むしを さがそう」 ・「むしと なかよく なろう」 ・「いきものずかん」 ・「やってみよう！ どうぶつの せわを しよう」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] ショウリョウバッタ、オンブバッタ、コオロギ</p> <p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈下〉○「生きもの なかよし 大作せん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校の ちかくの 生きものの ことを 話そう」 ・「生きものを さがそう」 ・「生きものを そだてよう」 ・「生きものの ことを ふりかえろう」 ・「生きもの図かん」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] ダンゴムシ、カエル、トンボ、アゲハ</p>
大日本	<p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈上〉○「みんな なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いきものと なかよく なろう」 <p>○「あき だいすき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「むしと なかよく なろう」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] コオロギ、ショウリョウバッタ</p> <p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈下〉○「生きもの はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つけた！ 生きものの ひみつ」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] カマキリ、やご、カタツムリ、ダンゴムシ</p>
学図	<p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈上〉○「生きもの 大すき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なかよく なろう」 ・「もっと やってみたいな」 <p>○「虫 大すき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虫と なかよく なろう」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] モルモット</p> <p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p>

	<p>〈下〉○「生きものと 友だち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きものを さがそう」 ・「生きものを かおう」 ・「ものしりノート」 ・「生きものの ふしぎを 見つけよう」 ・「ふりかえろう」 ・「もっと つづけたいな」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] ダンゴムシ、おたまじゃくし、やご、アゲハ、コオロギ、アリ</p>
<p>教出</p>	<p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈上〉○「なかよく なろうね 小さな ともだち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくスイッチ」 ・「生きものを さがそう」 ・「もっと なかよく なりたいね」 ・「なにを かんじたかな」 ・「生きものの そだてかた」 ・「もしも」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] ダンゴムシ、コオロギ、モルモット、チャボ</p> <p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈下〉○「めざせ 生きものはかせ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくスイッチ」 ・「生きものを つかまえよう」 ・「生きものを かって みよう」 ・「生きものに ついて つたえ合おう」 ・「何を かんじたかな」 ・「生きものの そだて方」 ・「会いに 行きたい！ せかいの なかまたち」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] シオカラトンボ、クロオオアリ、ショウリョウバッタ、アゲハ</p>
<p>信教</p>	<p>実物がないため調査・研究ができない。</p>
<p>光村</p>	<p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈上〉○「いきものと なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いきものを 見つけよう」 ・「いきものと なかよく なろう」 ・「いきものと なかよく なれたかな」 ・「どうぶつを かおう」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] ショウリョウバッタ・トノサマバッタ、ダンゴムシ、コオロギ、カマキリ、アリ、モルモット、ハムスター</p> <p>[飼育単元の学習活動の流れ]</p> <p>〈下〉○「生きものと 友だち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きものを さがそう」 ・「生きものの せわを しよう」

	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きものを くわしく 見て みよう」 ・「大はっけんを つたえよう」 ・「生きものと 友だちに なれたかな」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] アゲハ (ナミアゲハ)、やご (トンボ)、おたまじゃくし (カエル)、ダンゴムシ、カタツムリ、クワガタムシ・カブトムシ</p>
啓林館	<p>[飼育単元の学習活動の流れ] 〈上〉○「生きもの 大すき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくタイム 見た こと がある 生きものは いるかな」 ・「生きものと なかよく なるう」 ・「やってみよう もっと 生きものと なかよく なるう」 ・「なかよくなれた ことを しょうかいしよう」 ・「大せつな いのち」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] ショウリョウバッタ、コオロギ、ダンゴムシ</p> <p>[飼育単元の学習活動の流れ] 〈下〉○「生きもの 大すき 大はっ見」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくタイム どこに どんな 生きものが いるかな」 ・「生きものを さがそう」 ・「生きものを そだてよう」 ・「生きものの ひみつを さがそう」 ・「はっ見した ことを つたえ合おう」 ・「生きものの そだて方」 <p>[住みか・餌等の飼育方法が示されている生き物] アゲハ、トンボ (やご)、カブトムシ・クワガタ、カエル (おたまじゃくし)、ダンゴムシ</p>

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	②自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
方 法	○地域で生活したり働いたりしている人々と児童が関わる写真、四季の変化を対比させたページ

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉に、農家の人、交番で働く人、消防署で働く人、和菓子屋で働く人、図書館で働く人、グラウンドゴルフの活動をする人、児童館で働く人、公民館で働く人、科学館で働く人と児童がかかわる様子の写真 ○ 四季の変化を対比させたページ <ul style="list-style-type: none"> ・校庭で児童が季節のものをさがしているイラスト 〈上〉 p. 40-41 夏→p. 64-65 秋→p. 88-89 冬→ 〈下〉 p. 2-3 春 ・公園で児童が季節のものをさがしているイラスト 〈上〉 p. 42-43 夏→p. 66-67 秋→p. 90-91 冬 ・商店街のイラストと、季節の行事や風物詩、生き物や植物、雲の写真 〈下〉 p. 6-7 春→p. 42-43 夏→p. 56-57 秋→p. 90-91 冬
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉に、お茶屋で働く人、タイ料理店で働く人、駅で働く人、グラウンドゴルフの活動をする人、郵便局で働く人、交番で働く人、和菓子屋で働く人、醤油屋で働く人、グリーンボランティアの活動をする人、移動食品店舗で働く人、車いすの人と介助する人、農家の人、図書館で働く人、消防署で働く人、お茶屋で働く人と児童がかかわる写真 ○ 四季の変化を対比させたページ <ul style="list-style-type: none"> ・校庭での児童の様子のイラストと、防災施設や季節を感じる写真 〈上〉 p. 28-29 春→p. 102-103 冬→p. 128-129 春→ 〈下〉 p. 10-11 春 ・公園で町の人や児童が過ごしているイラストと、施設や植物の写真 〈上〉 p. 48-49 夏→p. 84-85 秋 ・商店街で過ごす人々のイラストと季節の行事の写真 〈上〉 p. 80-81 秋→p. 104-105 冬
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉に、和菓子屋で働く人、パン屋で働く人、消防署で働く人、花屋で働く人、お店で働く人と児童がかかわる写真 ○ 四季の変化を対比させたページ <ul style="list-style-type: none"> ・公園を中心にした町や商店、人々の生活の様子が分かるイラストと季節の伝統行事や風物詩の写真 〈下〉 p. 2-3 春→p. 18-19 夏→p. 20-21 秋→p. 36-37 冬
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉に、和菓子屋で働く人、靴屋で働く人、消防署で働く人、図書館で働く人、おもちゃ屋で働く人と児童がかかわる写真 ○ 四季の変化を対比させたページ <ul style="list-style-type: none"> ・公園を利用する人や児童の様子が分かるイラストと、生き物や植物、自然物の写真、自然物等で遊ぶ児童の写真 〈上〉 p. 42-43 (春) →p. 66-67 (秋) →p. 96-97 (冬)

	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページに四季のサクラの木、生き物、植物の写真 〈上〉 p. 106-107 春～冬「のはらの カレンダー」 ・町のイラストと地域の伝統行事の写真 〈下〉 p. 20-21 春→p. 52-53 夏→p. 74-75 秋→p. 94-95 冬
信教	実物がないため、調査・研究できない。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉に、交番で働く人、パン屋で働く人、図書館で働く人、駅で働く人、農家の人、ほいく園で働く人、和菓子屋で働く人、お囃子会で活動する人と児童がかかわる写真 ○ 四季の変化を対比させたページ ・商店街や町の人々の様子が分かるイラストと、地域の年中行事、風物詩、風景、植物等の写真 〈下〉 p. 12-13 春→p. 44-45 夏→p. 56-57 秋→p. 84-85 冬
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容(3)「地域と生活」、(4)「公共物や公共施設の利用」が中心となる単元〈下〉に、和菓子屋で働く人、花屋で働く人、交番で働く人、図書館で働く人、公園ボランティアの活動をする人、登下校の見守り隊の人、農家の人、駅で働く人、町工場で働く人と児童がかかわる写真 ○ 四季の変化を対比させたページ ・校庭で児童が活動するイラストと、植物や生き物の写真、児童が自然に触れる写真 〈上〉 p. 10-11 春→p. 42-43 夏→p. 68-69 秋→p. 98-99 冬 ・公園で児童が活動するイラストと、植物や生き物の写真、児童が自然に触れる写真 〈上〉 p. 16-17 春→p. 70-71 秋

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③自分自身や自分の生活について考えるための工夫
方 法	○学習活動の例、相互評価・他者評価の示し方の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>〔学習活動の例〕 内容（9）「自分の成長」が中心となる単元 〔相互評価・他者評価の示し方の例〕 内容（2）「家庭と生活」（9）「自分の成長」が中心となる単元</p> <p><上>〔学習活動の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もう すぐ 2ねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「あたらしい 1ねんせいを しょうたいしよう」 ・「しょうたいした ことを はなしあおう」 ・「1ねんかんを ふりかえろう」 ・「おおきく なった じぶんを みつめよう」 ・「つながる ひろがる」 <p>〔相互評価・他者評価の示し方の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あたらしい 1ねんせいを しょうたいしよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・園児からのお礼の言葉を、吹き出しで掲載している。 ○「しょうたいした ことを はなしあおう」 <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の先生からの評価を、吹き出しで掲載している。 <p><下>〔学習活動の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あしたへジャンプ」 <ul style="list-style-type: none"> ・「せい長した 自分の ことを ふりかえろう」 ・「せい長した 自分の ことを 見つめよう」 ・「自分の ことを まとめよう」 ・「ありがとうの 気持ちを つたえよう」 ・「つながる ひろがる」 <p>〔相互評価・他者評価の示し方の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「せい長した 自分の ことを 見つめよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちからの評価を、「ありがとうカード」「すごいねカード」に掲載している。 ・こども園の先生からの評価を、「自分のことをしらべよう」に掲載している。
大日本	<p>〔学習活動の例〕 内容（9）「自分の成長」が中心となる単元 〔相互評価・他者評価の示し方の例〕 内容（2）「家庭と生活」（9）「自分の成長」が中心となる単元</p> <p><上>〔学習活動の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ふゆ だいすき」 <ul style="list-style-type: none"> ・「きこえて きたよ ふゆの あしおと」 ・「さむく なっても あそぼうよ」 ・「かぞく だいすきだよ」 ・「もう すぐ 2年生」 ・「きこえて きたよ はるの あしおと」

	<p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「かぞく だいすきだよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・家族からの言葉や様子を「ぼかぼかすることば」カードの中に掲載している。 ○「もう すぐ 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> ・互いの成長に対する評価を、吹き出しで掲載している。 <p><下> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わたし ひろがれ」 <ul style="list-style-type: none"> ・「見つけよう 自分の すてき みんなの すてき」 ・「小さかった ころの 自分に 会いに 行こう」 ・「自分 ひろがれ はっぴょう会」 ・「ありがとうを とどけよう」 ・「みらいに むかって しゅっぱつ」 <p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見つけよう 自分の すてき みんなの すてき」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの良いところやがんばったこと等が書かれたカードを掲載している。 ○「小さかった ころの 自分に 会いに 行こう」 <ul style="list-style-type: none"> ・家族からの評価が書かれた、「自分 はっけん カード」を掲載している。
学図	<p>[学習活動の例] 内容(9)「自分の成長」が中心となる単元 [相互評価・他者評価の示し方の例] 内容(2)「家庭と生活」(9)「自分の成長」が中心となる単元</p> <p><上> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もうすぐ 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> ・「1年生を ふりかえろう」 ・「もうすぐ 2年生」 <p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「みんなに つたえよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・母親からの手紙を掲載している。 ○「1年生をふりかえろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちからの評価が書かれた「はっ見 カード」を掲載している。 <p><下> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わたしたんけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「2年生を ふりかえろう」 ・「みんなの いい ところを 見つけよう」 ・「これまでの わたしを しらべよう」 ・「わかった ことを まとめよう」 ・「はっぴょうしよう」 ・「もっと かがやきたい」 <p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「みんなの いいところを みつけよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの良いところが書かれたカードを掲載している。 ○「もっとかがやきたい」

	<p>・担任からの手紙を掲載している。</p>
教出	<p>[学習活動の例] 内容(9)「自分の成長」が中心となる単元 [相互評価・他者評価の示し方の例] 内容(2)「家庭と生活」(9)「自分の成長」が中心となる単元</p> <p><上> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もう すぐ 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> ・「あたらしい 1年生を むかえよう」 ・「1年かんを おもい出そう」 ・「なにを かんじたかな」 <p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「1年かんを おもい出そう」 <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しで評価が書かれた板書を掲載している。 ○「なにを かんじたかな」 <ul style="list-style-type: none"> ・互いの良いところを伝え合うための言葉を吹き出しで掲載している。 <p><下> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あしたへ つなぐ 自分たんけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「自分に ついて 思い出そう」 ・「まわりの 人に 聞いて みよう」 ・「何を かんじたかな」 ・「楽しかったね 生活科」 ・「何を かんじたかな」 <p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分に ついて 思い出そう」 <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人からの評価が書かれたカードを掲載している。 ○「何を かんじたかな」 <ul style="list-style-type: none"> ・周りの人からの手紙を掲載している。
信教	<p>実物がないため、調査研究できない。</p>
光村	<p>[学習活動の例] 内容(9)「自分の成長」が中心となる単元 [相互評価・他者評価の示し方の例] 内容(2)「家庭と生活」(9)「自分の成長」が中心となる単元</p> <p><上> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もう すぐ みんな 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> ・「ようこそ、 わたしたちの 学校へ」 ・「しょうたいした ことを ふりかえろう」 ・「1年かんを おもいだそう」 ・「2年生では、 なにを したいかな」 <p>[相互評価・他者評価の示し方の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にこにこが いっぱい」 <ul style="list-style-type: none"> ・母親からの手紙を掲載している。 ○「しょうたいした ことを ふりかえろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・園児からのお礼のことばを掲載している。 <p><下> [学習活動の例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「広がれ わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・「今の わたしは どんな わたし」

	<ul style="list-style-type: none"> ・「今の わたしに なるまでに」 ・「こんなに せいちょうしたんだね」 ・「せいちょうした ことを つたえよう」 ・「3年生も 楽しみだね」 <p>〔相互評価・他者評価の示し方の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「今の わたしは どんな わたし」 ・友だちの良いところを書いたカードを掲載している。 ○「せいちょうした ことを つたえよう」 ・発表に対する聞き手からの評価を吹き出しで掲載している。
啓林館	<p>〔学習活動の例〕 内容（9）「自分の成長」が中心となる単元 〔相互評価・他者評価の示し方の例〕 内容（2）「家庭と生活」（9）「自分の成長」が中心となる単元</p> <p><上>〔学習活動の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「もう すぐ 2年生」 ・「わくわくタイム 1年かんを ふりかえろう」 ・「できるように なった ことを あつめよう」 ・「あたらしい 1年生を しょうたいしよう」 ・「しょうたいした ことを ふりかえろう」 <p>〔相互評価・他者評価の示し方の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「できるように なった ことを あつめよう」 ・友だちからの評価が書かれたカードを掲載している。 ○「しょうたいした ことを ふりかえろう」 ・幼稚園の先生からの手紙を掲載している。 <p><下>〔学習活動の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「これまでの わたし これからの わたし」 ・「わくわくタイム 大きく なった 自分を ふりかえろう」 ・「自分に ついて しらべよう」 ・「自分の せい長を まとめよう」 ・「せい長した 自分を つたえよう」 <p>〔相互評価・他者評価の示し方の例〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分に ついて しらべよう」 ・友だちからの評価を吹き出しで掲載している。 ○「せい長した 自分を つたえよう」 ・祖父母からの手紙を掲載している。

【生活】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	④生活上必要な習慣や技能を身に付けるための工夫
方 法	○生活のきまりや安全についての扱いや表現の工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>※内容 (1) 「学校と生活」が中心となる単元 <上>○「どきどき わくわく 1ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうの いちにち」 ・「はじめまして きょうしつ」 ・「はじめまして ともだち」 ・「はじめまして がっこう」 ・「がっこうって たのしいな」 <p>[内容] 病気の予防に努めること、学校のルールやマナーを守ること、遊びのルールを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>○「がっこう だいすき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ともだちと がっこうを たんけんしよう」 ・「がっこうに いる ひとと なかよく なろう」 ・「がっこうで みつけた ことを つたえよう」 ・「みんなで つうがくろを あるこう」 ・「つうがくろの あんぜん」 <p>[内容] 病気の予防に努めること、交通安全、防犯、防災への意識を高めること、自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること、学校のルールやマナーを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>[マーク・コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かつどう べんりてちょう」マーク ・「やくそく」コーナー ・「がっこうに いる ひとと はなそう」コーナー <p>[内容] 「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</p>
大日本	<p>※内容 (1) 「学校と生活」が中心となる単元 <上>○「たのしいよ 1ねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんな よろしくね」 ・「できるよ やって みるよ」 ・「わくわくする こと いっぱいだね」 ・「「あぶない！」じぶんを まもる ために」 <p>[内容] 交通安全、防犯、防災への意識を高めること、学校のルールやマナーを守ること、遊びのルールを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>○「みんな なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく どきどきを みつけよう」 ・「ともだちと なかよく なろう」 ・「がっこうと なかよく なろう」 ・「つうがくろで みつけたよ」

	<p>[内容] 交通安全、防犯、防災への意識を高めること、学校のルールやマナーを守ること、遊びのルールを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>[マーク・コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きらきらことば」コーナー ・「あんぜんを まもる くふうだね」コーナー ・「ちゅうい」マーク ・「やくそく」コーナー ・「はなしかためいじん」「ききかためいじん」コーナー ・「がくしゅう どうぐばこ」マーク <p>[内容] 「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</p>
学図	<p>※内容 (1) 「学校と生活」が中心となる単元</p> <p>〈上〉○ 「はじまるよ しょうがっこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なかよく なりたいね」 ・「みんなで あそぼう」 ・「あんぜんな いき かえり」 <p>[内容] 病気の予防に努めること、交通安全、防犯、防災への意識を高めること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>○ 「がっこう たんけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうたんけん に いこう」 ・「もっと くわしく しろう」 <p>[内容] 学校のルールやマナーを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>[マーク・コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めざせ てあらいめいじん」マーク ・「あそんだ あとは てを あらおう」コーナー ・「やくそく」コーナー ・「まなびかたずかん」マーク ・「ものしりのうと」コーナー <p>[内容] 「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</p>

<p>教出</p>	<p>※内容 (1) 「学校と生活」が中心となる単元 <上>○「はじめの いっぽ」 ・「きょうから 1ねんせい」 [内容] 病気の予防に努めること、適切な挨拶や言葉遣いができること ○「わくわく どきどき しょうがっこう」 ・「がっこうを たんけんしよう」 ・「じぶんたちで あいに いこう」 ・「もっと たんけんして みよう」 ・「げんきに すごそう」 [内容] 病気の予防に努めること、交通安全、防犯、防災への意識を高めること、自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること、学校のルールやマナーを守ること、遊びのルールを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること [マーク・コーナー] ・「てあらいがいがい」マーク ・「やくそく」コーナー ・「まなびの ぼけっと」マーク ・「できるかな」コーナー [内容] 「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</p>
<p>信教</p>	<p>実物がないため、調査・研究できない。</p>
<p>光村</p>	<p>※内容 (1) 「学校と生活」が中心となる単元 <上>○「いちねんせいが はじまるよ」 ・「わたしの がっこう」 ・「わたし できるよ」 ・「しりたいな、やってみたいな」 [内容] 病気の予防に努めること、適切な挨拶や言葉遣いができること ○「なかよし いっぱい がっこう たんけん」 ・「おはなししに いこう」 ・「みつけたよ、わかったよ」 ・「つうがくろを たんけんしよう」 ・「いちばんの はっけんは なにかな」 ・「がっこうや つうがくろの あんぜん」 [内容] 病気の予防に努めること、交通安全、防犯、防災への意識を高めること、自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること、学校のルールやマナーを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること [マーク・コーナー] ・「!きを つけよう」コーナー ・「けんこう」マーク ・「みて! ○ぺえじ」マーク ・「あんぜん」マーク [内容] 「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</p>

啓林館	<p>※内容 (1) 「学校と生活」が中心となる単元</p> <p>く上>○「がっこう だいすき いちねんせい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あたらしい せいかつ」 ・「あたらしい ともだち」 ・「あそびが まなびに つながる ひろがる」 ・「がっこうを あるいて みよう」 ・「けんこうに すごそう」 ・「あんぜんに すごそう」 <p>[内容] 病気の予防に努めること、交通安全、防犯、防災への意識を高めること、自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること、学校のルールやマナーを守ること、遊びのルールを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>○「いくぞ! がっこう たんけんたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうを たんけんしよう」 ・「がっこうのひとと はなして みよう」 ・「はるの こうていを たんけんしよう」 ・「がっこうの ひみつを しょうかい しよう」 ・「がっこうの まわりを あるいて みよう」 <p>[内容] 病気の予防に努めること、交通安全、防犯、防災への意識を高めること、自然災害などの緊急時に適切な行動がとれること、学校のルールやマナーを守ること、適切な挨拶や言葉遣いができること</p> <p>[マーク・コーナー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんなとき どうしよう」コーナー ・「まなびの ひんと」コーナー ・「てを あらおう うがいを しよう」マーク ・「あんぜんに すごそう」マーク <p>[内容] 「衛生面・健康」「学校での安全な生活」「交通安全、防犯、防災」への注意喚起、「様々な人と適切に接すること」への大切さを示している。</p>
-----	--

【生活】

観 点	主体的学習に取り組む工夫
視 点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方 法	○単元の導入ページの内容

発行者	調査・研究内容
東書	<p>※内容(6)「自然や物を使った遊び」が中心となる単元 <下>○「うごく うごく わたしの おもちゃ」見開き2ページ [写真] ・児童4名が教室でゴムを利用して飛ぶおもちゃで遊んでいる様子。 ・児童3名が校庭で風を利用して回るおもちゃで遊んでいる様子。 ・輪ゴムと乾電池を利用して進むおもちゃの仕組みを考えている様子。 [児童及び教師の思いや発言、リード文等] 「おもちゃを つくって 楽しかったな。また みんなと あそびたいな。」 (児童) 「どうして うごくのかな。」(児童)</p>
大日本	<p>※内容(6)「自然や物を使った遊び」が中心となる単元 <下>○「楽しさ ひろがれ わたしの おもちゃ」見開き2ページ [写真] ・児童4名が廊下で、風を利用して動くおもちゃで遊んでいる様子。 [児童及び教師の思いや発言、リード文等] 「楽しそうな おもちゃだね。」(児童) ・二次元コード(動画)</p>
学図	<p>※内容(6)「自然や物を使った遊び」が中心となる単元 <下>○「作って あそぼう うごく リサイクル おもちゃ」見開き2ページ [写真] ・児童1名がおもちゃの材料の入った箱を抱え、箱から飛び出したように描写された3つのおもちゃの写真。 ・児童1名が空気を利用して飛ぶおもちゃで遊んでいる様子。 [児童及び教師の思いや発言、リード文等] 「むずかしそうだな。うまく 作れるかな。」(児童) 「自分の おもちゃを 作って、みんなと あそぼう。どんな あそびができるかな。」(リード文)</p>
教出	<p>※内容(6)「自然や物を使った遊び」が中心となる単元 <下>○「作って ためして」見開き2ページ [写真] ・児童6名がそれぞれ異なったおもちゃを持っている様子。 ・児童2名がおもちゃに対する気持ちを話す様子。 ・教師1名が問いかける様子。 [児童及び教師の思いや発言、リード文等] 「小さい時 空きばこで 車を作った ことがあるよ。」(児童) 「どんな おもちゃを 作ろうかな。」(児童) 「どんな おもちゃを 作ったら 楽しく あそべるかな。」(先生) ・活動への興味・関心を高めるフローチャート</p>

	・二次元コード (ワークシート)
信教	実物がないため、調査・研究できない。
光村	<p>※内容 (6) 「自然や物を使った遊び」が中心となる単元 <下>○「あそんで 作って くふうして」見開き2ページ</p> <p>[写真]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童4名がおもちゃの材料を見ながら考えている様子。 ・ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、乾電池等の材料の写真。 <p>[児童及び教師の思いや発言、リード文等]</p> <p>「どんなものが、あつまるかな。」(リード文)</p> <p>「あ!すごく いいこと おもいついた!」(児童)</p> <p>「わたしも いいこと おもいついた!」(児童)</p>
啓林館	<p>※内容 (6) 「自然や物を使った遊び」が中心となる単元 <下>○「せかいで ひとつ わたしの おもちゃ」見開き2ページ</p> <p>[写真]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童3名が「ざいりょう たからばこ」から材料を選んでいる様子。 ・ペットボトル、牛乳パック、ティッシュケース、毛糸等の材料の写真。 <p>[児童及び教師の思いや発言、リード文等]</p> <p>「どんな あそびが できるかな。」(リード文)</p> <p>「こども園で おもちゃを 作ったよ。」(児童)</p> <p>「1年生の ときは どんぐりごまを 作ったね。」(児童)</p> <p>「あつめた もので あそんで みよう。」(リード文)</p> <p>・二次元コード (動画、スライド)</p>

【生活】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥振り返り表現する活動の工夫
方 法	○栽培単元におけるワークシートの例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(当該単元で最初に記載されているワークシート)</p> <p>* () 内はワークシートに印刷された文字</p> <p>〈上〉○「はなを さかせよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述 (1行) 横書き罫線なし ・題 (たねを まいたよ) あさがお ・絵 あさがおの種3つ ・文 「はやくめがでてほしいな。」 <p>〈下〉○「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの画面に写真 (コメント付き) と記述 (5行) ・横書き罫線14本 ・題 しちゅうの立て方 (を 教えてください。) (そだてて いる 野さい) ミニトマト ・写真 ミニトマトの苗1つ (「強い風がふくと、おれそう」とコメント) ・文 「わたしのミニトマトが大きくなってきてたおれそうなので、しちゅうを立てようと思います。アサガオと同じしちゅうだとミニトマトのはっぱが当たってしまいます。みんなは、どうしていますか？」
大日本	<p>(当該単元で最初に記載されているワークシート)</p> <p>* () 内はワークシートに印刷された文字</p> <p>〈上〉○「みんな なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述 (2行) 横書き罫線1本 気持ちを表現する顔のマーク ・題 (かんさつ にっき) あさがお ・絵 あさがおの子葉2枚、発芽しそうな種1つ ・文 「わたしのあさがおさんがうまれました。おめでとうのうたをうたいました。」 <p>〈下〉○「春 はっけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述 (4行) 横書き罫線4本 ・題 (かんさつ 日記) イチゴ ・絵 花や実が付いたイチゴの苗複数 ・文 「3月ごろに花がさいて、やっと4月になってまっかなイチゴができました。大せつにそだてたので、食べるのがとてもたのしみです。」
学図	<p>(当該単元で最初に記載されているワークシート)</p> <p>* () 内はワークシートに印刷された文字</p> <p>〈上〉○「わたしの あさがお」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述 (2行) 横書き罫線なし 気持ちを表現する顔のマーク ・題 (わたしの あさがお) ・絵 あさがおの種1つ ・文 「めをだしてね」「くろくてちいさいよ」 <p>〈下〉○「わたしたちの 野さいばたけ」</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述（7行）横書き罫線8本 気持ちを表現する顔のマーク ・題 （野さい 日記）そだてる野さいをきめたよ ・絵 ナスの苗1つを持った児童1名、ナス2つ ・文 「ぼくは、にが手なナスにちょうせんします。自分でそだてたら、すきになれると思ったからです。お店の人が、「なえの方がそだてやすいよ。」と教えてくれました。だから、なえからそだてることにしました。みができるのが、今から楽しみです。」
<p style="text-align: center;">教出</p>	<p>（当該単元で最初に記載されているワークシート）</p> <p>*（ ）内はワークシートに印刷された文字</p> <p>〈上〉○「きれいに さいてね わたしの はな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述（3行）横書き罫線なし ・題 （きれいに さいてね）たねを まいたよ ・絵 あさがおの種1つ ・文 「たねはちいさいな。かわいいな。」 <p>〈下〉○「めざせ 野さい作り名人」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述（5行）横書き罫線6本 ・題 （おいしい 野さいに なあれ）ミニトマトのなえをうえたよ ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文 「はっぱもくきもみどり色でさわるとざらざらしていました。はっぱのはじっこはぎざぎざしていました。元気にそだってほしいです。」
<p style="text-align: center;">信教</p>	<p>実物がないため、調査・研究できない。</p>
<p style="text-align: center;">光村</p>	<p>（当該単元で最初に記載されているワークシート）</p> <p>*（ ）内はワークシートに印刷された文字</p> <p>〈上〉○「さいて ほしいな わたしの はな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述（2行）横書き罫線3本 ・題 （さいて ほしいな わたしの はな）あさがおのたね ・絵 あさがおの種3つ ・文 「いろは、ちゃいろとくろです。はやくめがでてほしいです。」 <p>〈下〉○「おいしい やさいを そだてたい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述（5行）横書き罫線6本 ・題 （おいしい やさいを そだてたい）なえをうえた ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文 「ミニトマトのなえをうえました。なえにさわると、ゆびがトマトのにおいになって、びっくりしました。おいしいミニトマトができるように、せわをがんばります。」

啓林館	<p>(当該単元で最初に記載されているワークシート)</p> <p>* () 内はワークシートに印刷された文字</p> <p>〈上〉○「わたしの はなを、そだてよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述 (3行) 横書き罫線なし ・題 (たねをまいたよ) ・絵 あさがおの種1つ ・文 「すいかみたいなかたちだよ。はやくさいてね。」 <p>〈下〉○「大きく そだて わたしの 野さい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と記述 (5行) 横書き罫線5本 ・題 なえをうえたよ ・絵 ミニトマトの苗1本 ・文 「ミニトマトのなえをうえました。野さい名人のささ木さんが「おいしい野さいを作るには、土作りが大切だよ。」と教えてくれました。これからおせわをがんばります。」
-----	--

【生活】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元や資料等の配列及び分量
方 法	○単元名・資料等の配列及び総ページ数、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容

発行者	調査・研究内容	
東書	<p>〈上〉総ページ数 130 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「どきどき わくわく 1ねんせい」 ○「がっこう だいすき」 ○「はなを さかせよう」 ○「なつが やってきた」 ○「いきもの なかよし」 ○「たのしい あき いっぱい」 ○「じぶんで できるよ」 ○「ふゆを たのしもう」 ○「もう すぐ 2ねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「かつどう べんりてちょう」 ・「ほんとうのおおきさ いきものずかん」 	<p>〈下〉総ページ数 122 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「春だ 今日から 2年生」 ○「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」 ○「どきどき わくわく まちたんけん」 ○「生きもの なかよし 大作せん」 ○「うごく うごく わたしのおもちや」 ○「みんなで つかう まちの しせつ」 ○「もっと なかよし まちたんけん」 ○「つながる 広がる わたしの 生活」 ○「あしたへ ジャンプ」 <ul style="list-style-type: none"> ・「かつどう べんりてちょう」
	<p>[幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容]</p> <p>〈上〉○「どきどき わくわく 1ねんせい」全13ページ ・「つながる ひろがる」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p> <p>〈下〉○「あしたへ ジャンプ」全11ページ ・「つながる ひろがる」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	
大日本	<p>〈上〉総ページ数 140 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たのしいよ 1ねんせい」 ・「やってみよう せいかつか」 ○「みんな なかよし」 ○「なつと なかよし」 ○「あき だいすき」 ○「ふゆ だいすき」 <ul style="list-style-type: none"> ・「がくしゅうどうぐばこ」 	<p>〈下〉総ページ数 128 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう 生活科」 ○「春 はっけん」 ○「生きもの はっけん」 ○「わたしの 町 はっけん」 ○「町の キラリ ひろがれ」 ○「楽しさ ひろがれ わたしのおもちや」 ○「わたし ひろがれ」 <ul style="list-style-type: none"> ・「がくしゅうどうぐばこ」
	<p>[幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容]</p> <p>〈上〉○「たのしいよ 1ねんせい」全6ページ ・「わくわくすること いっぱいだね」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	

	<p>〈下〉○「わたし ひろがれ」全22ページ ・「みらいに むかって しゅっぱつ」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	
学図	<p>〈上〉総ページ数140ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はじまるよ しょうがっこう」 ○「がっこうたんけん」 ○「わたしの あさがお」 ○「あそびに いこうよ」 ○「生きもの 大すき」 ○「虫 大すき」 ○「あきを たのしもう」 ○「ありがとうが いっぱい」 ○「ふゆを たのしもう」 ○「もうすぐ 2年生」 ・「まなびかた ずかん」 	<p>〈下〉総ページ数132ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「まちたんけん」 ○「あの 人に 会いたいな」 ○「わたしたちの 野さいばたけ」 ○「生きものと 友だち」 ・「みんなの 夏休み」 ○「作って あそぼう うごく おもちや」 ・「みんなの 冬休み」 ○「わたしたんけん」 ・「学び方図かん」
	<p>[幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容]</p> <p>〈上〉○「はじまるよ しょうがっこう」全10ページ ・「どんな ことを するのかな」で、幼児期の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p> <p>〈下〉○「わたしたんけん」全15ページ ・「もっと かがやきたい」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	
教出	<p>〈上〉総ページ数130ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はじめの いっぱ」 ○「わくわく どきどき しょうがっこう」 ○「きれいに さいてね わたしの はな」 ○「きせつと なかよし はる・なつ」 ○「なかよく なるうね 小さな ともだち」 ○「きせつと なかよし あき」 ○「かぞくにここにこ 大さくせん」 ○「きせつと なかよし ふゆ」 ○「もう すぐ 2年生」 ・「学びの ポケット」 	<p>〈下〉総ページ数130ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わくわく 2年生」 ○「めざせ 野さい作り名人」 ○「まちが 大すき たんけんたい」 ○「めざせ 生きものはかせ」 ○「えがおのひみつ たんけんたい」 ○「作って ためして」 ○「あしたへ つなぐ 自分たんけん」 ・「学びの ポケット」
	<p>[幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容]</p> <p>〈上〉○「はじめの いっぱ」全7ページ ・「がくしゅうの はじまり」で、幼児期の教育との接続に関する内容を示している。</p> <p>〈下〉○「あしたへ つなぐ 自分たんけん」全13ページ ・「何を かんじたかな」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	

	を示している。	
信教	実物がなかったため、調査・研究ができない。	
光村	<p>〈上〉 総ページ数 129 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いちねんせいが はじまるよ」 ○ 「なかよし いっぱい がっこう たんけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「もっと やってみよう」 ○ 「さいて ほしいな わたしの はな」 ○ 「なつと ともだち」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「もうすぐ なつやすみ」 ・ 「なつの たのしみ」 ○ 「いきものと なかよし」 ○ 「あきと ともだち」 ○ 「みんなの にこにこ 大きくせん」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「もうすぐ ふゆやすみ」 ・ 「ふゆの たのしみ」 ○ 「ふゆと ともだち」 ○ 「もう すぐ みんな 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひろがる せいかつ じてん」 (別添) 	<p>〈下〉 総ページ数 127 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「2年生が はじまるよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「きせつ の ぐらし」 ○ 「まちを たんけん 大はっけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「もっと やって みよう」 ○ 「おいしい やさいを そだてたい」 ○ 「生きものと 友だち」 ○ 「あそんで 作って くふうして」 ○ 「みんなが つかう まちの しせつ」 ○ 「もっと もっと まちたんけん」 ○ 「みんなに つたえよう すてきな まち」 ○ 「広がれ わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひろがる せいかつ じてん」
	<p>[幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容]</p> <p>〈上〉 ○ 「いちねんせいが はじまるよ」 全14ページ ・ 「しりたいな、やって みたいな」で、幼児期の教育との接続に関する内容を示している。</p> <p>〈下〉 ○ 「広がれ わたし」 全12ページ ・ 「もっと やって みよう」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。</p>	
啓林館	<p>〈上〉 総ページ数 148 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「がっこう だいすき いちねんせい」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「がくしゅうずかん」 ○ 「いくぞ! がっこう たんけんたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「びっくりずかん」 ○ 「わたしの はなを そだてよう」 ○ 「なつと なかよし」 ○ 「生きもの 大すき」 ○ 「あきと なかよし」 ○ 「じぶんで チャレンジ 大きくせん」 ○ 「ふゆと なかよし」 ○ 「もう すぐ 2年生」 	<p>〈下〉 総ページ数 138 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わくわく どきどき 2年生」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「びっくりずかん」 ○ 「大きく そだて わたしの 野さい」 ○ 「とび出せ! 町の たんけんたい」 ○ 「生きもの 大すき 大はっけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「がくしゅうずかん」 ○ 「せかいで ひとつ わたしの おもちゃ」 ○ 「もっと 知りたい たんけんたい」 ○ 「町の すてき つたえたい」 ○ 「これまでの わたし これからの わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みらいに むかって」

[幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容]

〈上〉○「がっこう だいすき いちねんせい」全17ページ

・「あそびが まなびに つながる ひろがる」で、幼児期の教育との接続に関する内容を示している。

〈下〉○「みらいに むかって」全7ページ

・資料「3年生へのステップブック」で、中学年以降の教育との円滑な接続に関する内容を示している。

【生活】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	○キャラクター・マークの工夫

発行者	調査・研究内容
東書	<p>[キャラクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが問いを投げかけたり、事象に関する気付きや今後の行動を促し、安全面への配慮をつぶやいたりしている。 ○ キャラクターが、問いを投げかけたり、参考にできる図鑑のページを紹介したりしている。 ○ 6名の児童（イラスト）が繰り返し登場し、活動を展開している。 <p>[マーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「!」「?」「♡」マークで、主な評価規準（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を示している。 ○ 「つながる○○（教科名）」マークで、他教科等との関連を示している。 ○ 「かつどうべんりてちょう」マークで、巻末を参照するようページを示している。 ○ 「ちゅうい」マークで、安全上の配慮が必要な対象を示している。
大日本	<p>[キャラクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターが問いを投げかけたり、事象に関する気付きや今後の行動を促し、安全面への配慮をつぶやいたりしている。 ○ 5名の児童と先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ 登場する児童や先生が気付きや疑問をつぶやくことで、思考や活動を促している。 <p>[マーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「せいかつことば」マークで、語彙力の向上や言語能力の育成を図る言葉を、「きらきらことば」マークで、友だちとのスムーズな交流を支える言葉を示している。 ○ 「がくしゅうどうぐばこ」マークで、関連資料のページを示している。 ○ 「きもちマーク」で、振り返りができるようにしている。 ○ 「SDGs」マークで、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。
学図	<p>[キャラクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4名の児童と先生（イラスト）が繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ 単元ごとにキャラクターを設定し、気付きや疑問をつぶやいている。 <p>[マーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び方図かん」マークで、生活科の基本的な学習方法が分かる資料ページを参照するよう示している。 ○ 「ものしりノート」マークで、関連する資料ページを参照するよう示している。 ○ 「てあらいうがい」「やくそく」「!」マークで、安全・衛生上の注意を示している。 ○ 小単元名の前に、学習の内容に関連するイラストのマークを掲載している。

<p>教出</p>	<p>[キャラクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2名の児童と2名の先生（写真）が、繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ キャラクターが、「はっけんロード」の途中で発見したことや感じたことをつぶやいたり、振り返りの場面で「ぐんぐんはしご」というコーナーで学習活動の自己評価を促したりしている。 ○ キャラクターが、問いを投げかけている。 <p>[マーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「サイコロ」マークで、学習活動で引き出す力（気付く・自分でできる・考える・伝える・挑戦する・自信をもつ）を示している。 ○ 「学びのポケット」マークで、巻末を参照するように示している。 ○ 「ヒント」マークや「やくそく」マークで、学習のヒントや約束事項を示している。 ○ 二次元コードごとにマーク（「どうが」「ワークシート」「デジタルずかん」）を付けている。
<p>信教</p>	<p>実物がないため、調査・研究できない。</p>
<p>光村</p>	<p>[キャラクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ児童と先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ 資質・能力について振り返るための視点を、キャラクターの問いかけやマークで示している。 <p>[マーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マークで、学習内容と関連する「ひろがる せいかつ じてん」のページを示している。 ○ マークで、動画（二次元コード）の種類（健康・道具・安全・近付かない）を示している。 ○ 「もっと やって みよう」マークで、学習を広げるための資料を示している。 ○ 「SDGs」マークで、身近な問題としてSDGsについて考えるよう促している。
<p>啓林館</p>	<p>[キャラクター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5名の児童（イラスト）と2名の先生（イラスト）が、繰り返し登場し、活動を展開している。 ○ キャラクターが、気付きや疑問、学び方のヒントをつぶやいている。 <p>[マーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入の「わくわく」、主な活動の「いきいき」、振り返りの「ぐんぐん」の3段階のマークで単元の流れを示している。 ○ マークで他教科との関連を示している。 ○ マークで、考えるための学習活動の例（見付ける・比べる・例える・試す等）を示している。 ○ 「がくしゅうずかん」マークで、学習図鑑の参照ページを示している。

【生活】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨コミュニケーション活動を通じた他者との情報交流の設定
方 法	○多様な表現方法で伝え合う活動の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>伝え合う活動の例※他者に伝える活動を調査（下）</p> <p>○「ぐんぐん そだて わたしの 野さい」 ・「野さいを しゅうかくしよう」</p> <p>○「どきどき わくわく まちたんけん」 ・「見つけた ことを つたえよう」</p> <p>○「生きもの なかよし 大作せん」 ・「生きもの の ことを ふりかえろう」</p> <p>○「もっと なかよし まちたんけん」 ・「分かった ことを つたえ合おう」</p> <p>○「つながる 広がる わたしの 生活」 ・「つたえたい ことを まとめよう」 ・「まちの すてきを とどけよう」</p> <p>○「あしたへ ジャンプ」 ・「自分の ことを まとめよう」</p> <p>○巻末「かつどう べんりてちょう」 ・「まとめよう つたえよう」</p> <p>※「多様な表現方法」の 〃 はICT機器を示している。</p> <p>[表現方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折りたたみ絵本、新聞、手紙 ・探検マップ、<u>電子黒板</u> ・新聞、絵本、デジタル図鑑、巻物 ・探検マップ、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・新聞、パンフレット、動画、<u>電子黒板</u> ・絵本、デジタル紙芝居、新聞、巻物、ランキング ・新聞、折りたたみ絵本、パンフレット、ポスター、すごろく、劇、デジタルアルバム、デジタル紙芝居、デジタル図鑑
大日本	<p>伝え合う活動の例※他者に伝える活動を調査（下）</p> <p>○「生きもの はっけん」 ・「見つけた！ 生きもの の ひみつ」 ・「大きく おいしく そだつ ひみつ はっけん」</p> <p>○「わたしの 町 はっけん」 ・「町の キラリを あつめよう」</p> <p>○「町の キラリ ひろがれ」 ・「町の キラリを ひろげたい」</p> <p>○「わたし ひろがれ」 ・「自分 ひろがれ はっぴょう会」</p> <p>○巻末「がくしゅうどうぐばこ」 ・「学び方名人 はっぴょう名人」</p> <p>※「多様な表現方法」の 〃 はICT機器を示している。</p> <p>[表現方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作化、観察日記、日記、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・地図、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・実演、動画、地図、ポスター、<u>電子黒板</u> ・折りたたみ絵本、写真、実演、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・動画・スライドショー、ポスター・新聞、紙芝居、図鑑・パンフレット、地図・すごろく、ペーパーアート・劇、スタンプラリー・ビンゴカード
学図	<p>伝え合う活動の例※他者に伝える活動を調査（下）</p> <p>○「まちたんけん」 ・「見つけた ことを つたえよう」</p> <p>○「あの 人に 会いたいな」 ・「しらべた ことを つたえよう」</p> <p>○「わたしたちの 野さいばたけ」 ・「ふりかえろう」</p> <p>○「生きものと 友だち」 ・「ふりかえろう」</p> <p>○「わたしたんけん」</p> <p>[表現方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検カード、クイズ、<u>電子黒板</u> ・新聞、ポスター、絵本、地図、作文、巻物、<u>電子黒板</u> ・新聞、日記、俳句 ・発見カード、日記、ポスター、<u>実物投影機</u> ・ポスター、手紙

	<ul style="list-style-type: none"> ・「はっぴょうしよう」 ○巻末「学び方図かん」 ・「はっぴょうする」 <p>※「多様な表現方法」の___はICT機器を示している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お話やクイズ、劇、紙芝居、ペープサート、新聞、ポスター
教出	<p>伝え合う活動の例※他者に伝える活動を調査（下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「めざせ 野さい作り名人」 <ul style="list-style-type: none"> ・「何を かんじたかな」 ○「まちが 大すき たんけんたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「見つけた ことを つたえ合おう」 ・「何を かんじたかな」 ○「めざせ 生きものはかせ」 <ul style="list-style-type: none"> ・「生きものについて つたえ合おう」 ・「何を かんじたかな」 ○「えがおのひみつ たんけんたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「えがおいっぱい はっぴょう会」 ○「あしたへ つなぐ 自分たんけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「何を かんじたかな」 ○巻末「学びのポケット」 <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめよう はっぴょうしよう」 <p>※「多様な表現方法」の___はICT機器を示している。</p>	<p>[表現方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞、日記、<u>タブレット</u>、 ・探検マップ、カード ・新聞、ポスター、クイズ、動作化、観察記録、絵パズル ・ポスター、クイズ、紙芝居探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・作文 ・クイズ、紙芝居、すごろく、ペープサート、情報機器、歌や踊り、ポスター、新聞、絵地図、本、蛇腹折りの本
信教	<p>実物がないため、調査・研究できない。</p>	
光村	<p>伝え合う活動の例※他者に伝える活動を調査（下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「まちを たんけん 大はっけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「はっけんした ことを つたえよう」 ○「おいしい やさいを そだてたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「気に なる ことを そうだんしよう」 ○「生きものと 友だち」 <ul style="list-style-type: none"> ・「大はっけんを つたえよう」 ○「もっと もっと まちたんけん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「まちの 大はっけんを あつめよう」 ○「みんなに つたえよう すてきな まち」 <ul style="list-style-type: none"> ・「しらべた ことを まとめよう」 ・「まちの すてきを つたえよう」 ○「広がれ わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・「せいちょうした ことを つたえよう」 ○別冊「ひろがる せいかつじてん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめ方を えらぼう」 <p>※「多様な表現方法」の___はICT機器を示している。</p>	<p>[表現方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検マップ、<u>電子黒板</u> ・観察記録、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・動画、紙芝居、記録カード、<u>電子黒板</u> ・町探検マップ、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・壁新聞、ポスター、パンフレット ・新聞、ランキング、すごろく <u>電子黒板</u> ・新聞、ポスター、パンフレット、ランキング、すごろく、巻物、絵本、紙芝居、スライドショー
啓林館	<p>伝え合う活動の例※他者に伝える活動を調査（下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「大きく そだて わたしの 野さい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの 野さいを しょうかいしよう」 ○「とび出せ！町の たんけんたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「はっ見した ことを ふりかえろう」 ○「生きもの 大すき 大はっ見」 	<p>[表現方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察カード、写真、手紙、<u>電子黒板</u> ・町探検マップ、<u>電子黒板</u> ・クイズ、劇、パズル、紙芝居、

	<ul style="list-style-type: none"> ・「はっ見した ことを つたえ合おう」 ○「もっと 知りたい たんけんたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「町で 見つけた すてきを 話そう」 ○「町の すてき つたえたい」 <ul style="list-style-type: none"> ・「町の すてきを つたえよう」 ・「ありがとうを つたえよう」 ○「これまでの わたし これからの わたし」 <ul style="list-style-type: none"> ・「せい長した 自分を つたえよう」 ○巻末「がくしゅうずかん」 <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめよう つたえよう」 <p>※「多様な表現方法」の 〃 はICT機器を示している。</p>	<p>新聞、綴じる絵本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検マップ、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・劇、カルタ、クイズ、廊下掲示、動画、ポスター、手紙、作文、<u>電子黒板</u>、<u>タブレット</u> ・新聞、動画、ありがとうカード ・新聞、紙芝居、パンフレット、クイズ、俳句、詩、カルタ、写真や動画
--	--	--

令和5年7月27日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員

種目 音楽

代表者 宮原小 学校

氏名 増本絵里子

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））調査・研究
報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【音楽】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 題材や学習目標等の示し方
方 法	○ 題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>【第3学年における旋律や変化等を扱った鑑賞の教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の表記の仕方（第3学年） 「せんりつと音色」として、見開き左上に縦書きで示している。 ○ 学習目標の表記の仕方 「せんりつのへん化をきき取りながらバイオリンのえんそうを楽しもう」と横書きで示し、「せんりつ」「へん化」「バイオリン」の文言には色が付いている。 ○ 学習目標達成のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の見通しを示す文として、目次の次の見開きページに掲載している「学習マップ」の中に、写真、題材名とともに「せんりつの流れや、楽きの音色のとくちょうに注目してききます。」と示している。 ・児童の気付きを引き出す支援として、「まなびナビ（学び方を知ろう）」のマークを付け、「せんりつの流れに合わせて、手や体を動かしながらきいてみよう。せんりつの感じは、どのようにかわっていくかな。」「バイオリンの音色を味わってきこう。」と示すとともに、旋律の流れや、手や体の動きの例等をイラストで示している。 ・二次元コードから、演奏動画を見ることができる。演奏に合わせて、楽譜に色が付き、旋律の動きが示されている。
教芸	<p>【第3学年における旋律や変化等を扱った鑑賞の教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の表記の仕方（第3学年） 「せんりつのとくちょうをかんじとろう」として、見開き左側に縦書きで示している。 ○ 学習目標の表記の仕方 「せんりつの音の上がり下がりに気をつけてききましょう。」と横書きで示している。 ○ 学習目標達成のための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の見通しを示す文として、題材の始めのページの見開き左側に「せんりつの音の上がり下がりに気をつけて、歌ったりえんそうしたり、きいたりすることができるかな。」と縦書きで示している。 ・児童の気付きを引き出す支援として、「見つける」「考える」のマークを付け、「せんりつの音の上がり下がりに気をつけて、アとイのせんりつをききましょう。それぞれどのようなとくちょうがありますか。」「せんりつのとくちょうについて友だちと話し合い、それらをふりかえりながら、ア→イ→アを通してききましょう。」と示している。また、イラストの吹き出しの中に、「音楽に合わせて、主なせんりつの図形を指でたどって、アとイのせんりつをくらべてみようかな。」と示すとともに、旋律の流れをイラストで示している。 ・二次元コードから、アとイの旋律をそれぞれ聴くことができる。

【音楽】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 歌唱の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方 法	○ 歌唱教材の扱いの具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>【歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の扱いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材における扱い <ul style="list-style-type: none"> ・「曲に合った歌い方」の中の歌唱教材として扱っている。 ○ 学習目標及び音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標「ひびきを大切にして歌い方をくふうしよう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「せんりつ」「音色」を示している。 ○ 歌詞 <ul style="list-style-type: none"> 1、2番 ○ 速度 <ul style="list-style-type: none"> J=116ぐらい ○ 記号の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲で習得する記号について、見開き右側に示している。(スタッカート) ○ 合唱の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・ア イに分かれイの部分で二部合唱になっている。 ○ 発声の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・歌っている姿の写真を掲載し、歌い方のポイントを次のように示している。 <p>歌声 おなかを使って歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたを楽にして、おなかに手を当てながら歌ってみよう。 ・「ゆかいに歩けば」の前半の部分をピ、ポ、マなどの言葉で、歌ってみよう。
教芸	<p>【歌唱教材「ゆかいに歩けば」(第4学年)の扱いの具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材における扱い <ul style="list-style-type: none"> ・「せんりつのとくちょうを感じ取ろう」の中の歌唱教材として扱っている。 ○ 学習目標及び音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標「せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう」及び扱う〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について「音色」「せんりつ」「強弱」を示している。 ○ 歌詞 <ul style="list-style-type: none"> 1、2、3番 ○ 速度 <ul style="list-style-type: none"> J=116～126 ○ 記号の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲で習得する記号について、「がくふマスター」と題した四角の中に示している。(スタッカート、ピアノ、メゾピアノ) ○ 合唱の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・ア イに分かれイの部分で二部合唱になっている。 ○ 発声の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・歌い方のポイントを次のように示している。 <p>歌声ルーム2</p>

	<p>・「バルデリー」「バルデラー」「バルデロー」のように、のばす音のところでは、 どンドン息をふやす感じで、声が体からわき上がるように歌いましょう。また、 スタッカートのところは、おなかのまわり全体の動きを感じて、わらったとき のようにはずんで歌いましょう。</p>
--	--

【音楽】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③ 器楽の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方 法	○ リコーダーの学習の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>【リコーダーの学習の具体例（第3学年及び第4学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リコーダーの導入（第3学年） <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→鑑賞曲を聴く→リコーダーの種類を知る→リコーダーの演奏の仕方を知る→「シ」の音を吹いたりタンギングしたりする ○ 学習する音の順番 <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年：シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ ・第4学年：ミ→ド→#ソ ○ 運指の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年の導入や「ド」「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。 ・階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。 ・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。 ○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・「大きなしゃぼん玉をつくる時のように、息をまっすぐに出そう。」と示している。 ・第3学年の導入で、タンギングを「トゥ」「ル」、また、第4学年で、高い音をきれいに響かせるために「ティ」と発音するよう説明している。 ・第4学年で、サミングの2つの方法を写真と言葉で説明している。
教芸	<p>【リコーダーの学習の具体例（第3学年及び第4学年）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リコーダーの導入（第3学年） <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーのつくりや各部の名称を知る→ヘッド ピースで音あそび（参考曲を聴く）→リコーダーの演奏の仕方を知る→鑑賞曲を聴く→タンギングと息の使い方を学ぶ→「シ」の音を吹いたりタンギングしたりする ○ 学習する音の順番 <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年：シ→ラ→ソ→ド→レ→ファ→ミ→レ→ド ・第4学年：ミ→ファ→ソ ○ 運指の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年の導入や「レ」では、演奏の仕方の様子を、子供の目線や横から見た写真等で示している。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・階名、五線譜、吹き口を下側にした、子供の目線でのリコーダーのイラストを示している。・二次元コードを掲載し、運指に関わるコンテンツを表示することができるようにしている。 <p>○ 息の吹き込み方・タンギング・サミングの説明</p> <ul style="list-style-type: none">・「大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふこう。」と示している。・第3学年の導入で、タンギングを「tu (トゥ)」、また、第4学年で、高い音を吹く時には、「ti (ティ)」と発音するよう説明している。・第4学年で、サミングの2つの方法を写真と言葉で説明している。 |
|--|---|

【音楽】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方 法	○ 音楽づくりに関する学習過程等の示し方と具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>○ 学習過程の示し方について (第1学年)</p> <p>題 材「はくと リズム」 学習目標「たんと たたの リズムで あそぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まねっこ あそび せんせいが うつ リズムを、みんなで まねっこして うとう。 はく に あわせて、うって いこう。 せんせいの やくを こうたいしても いいね。 ・よびかけっこ あそび せんせいが うつ リズムと、べつの リズムを うって みよう。 ・リレー あそび 1 たん たた うん を くみあわせて、はく よつつぶんの リズムをつくろう。 うって たしかめながら つくってね。 2 つくった リズムを、ともだちと つなげて うって、リレーしよう。 ・リズムを がっきで うっても いいね。(タンブリン、すず、カスタネット) <p>○ リズムの例の示し方について たん=円、たた=半円2つ、うん=ひし形と示すとともに、5つのリズムの例を示している。</p> <p>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素との働きの視点で捉えさせる工夫 音遊びの活動を、題材の導入に位置付けている。</p>
教芸	<p>○ 学習過程の示し方について (第1学年)</p> <p>題 材「はくに のって リズムを うとう」 学習目標「たんと たたを つかって ことばで リズムを つくりましょ う。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あといのリズムにあう ことばを うえの えから 1つずつ えらびましょ う。 せんせいの うつ はくに のって、えらんだ ことばを いいましょ。 ことばに あわせて、あといのリズムを て(手のイラスト)で うちましょ。 2 (「みつける」マーク)おなじ ことばを くりかえしたり ちがう ことばを く みあわせたり して できる リズムの おもしろさを たしかめましょ。 3 (「かんがえる」「つくる」マーク)どの ことばで つくると おもしろい かん じのリズムになるか かんがえて つくりましょ。 4 ふたりの くみになり、つくった リズムを つなげましょ。 <p>○ リズムの例の示し方について たん=黒い円、たた=黒い半円2つ、うん=白い円と示している。また、食べ 物の名前とともに、5つのリズムの例を示している。</p> <p>○ 音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えさせる工夫</p>

	音遊びの活動を、題材の導入に位置付けている。
--	------------------------

【音楽】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫
方 法	○ 音や音楽と生活との関わりについての記述

発行者	調査・研究内容
教出	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 がっき ずかん：「がっきを つくって みよう」</p> <p>第2学年 音の スケッチ：「どんな 音が きこえるかな」 題材：「おまつりの 音楽」</p> <p>第3学年 音のスケッチ：「いろいろな声で表げんしよう」 題材：「日本と世界の音楽」</p> <p>第4学年 巻頭：「体で伝え合おう！音楽の楽しさ」 題材：「日本と世界の音楽」 歌唱教材との関わり：「わたしたちの生活と音楽」</p> <p>第5学年 巻頭：「舞台から未来へ」 題材：「日本の音楽」</p> <p>第6学年 巻頭：「ひびきに心をのせて」 歌唱教材との関わり：「海を思う心」 特集：「心と心をつなぐ音楽」</p>
教芸	<p>○ 音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、表現者からのメッセージ等を掲載している。</p> <p>第1学年 題材：「みの まわりの おとに みみを すまそう」</p> <p>第2学年 題材：「音楽で みんなと つながろう」 題材：「せいかつの中にある 音を 楽しもう」</p> <p>第3学年 巻頭：「ようこそ リコーダーの世界へ」 題材：「ちいきにつたわる音楽でつながろう」 鑑賞教材との関わり：「神田囃子ほぞん会立野喜久雄さんのお話」</p> <p>第4学年 巻頭：「気持ちを歌でとどけましょう」 題材：「ちいきにつたわる音楽に親しもう」</p> <p>第5学年 巻頭：「音楽と社会をつなぐテクノロジー」 鑑賞教材との関わり：「仙台フィルハーモニー管弦楽団バイオリン奏者 神谷未穂さんのお話」 題材：「日本の音楽に親しもう」</p> <p>第6学年 巻頭：「音楽は人間の命の一部です」 特集：「著作権について知ろう」 特集：「音楽のもっている力や役割」 歌唱教材との関わり：「卒業に思いをこめて」</p>

【音楽】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い
方 法	○ 学年ごとに扱う鑑賞曲・和楽器・歌唱教材

発行者	調査・研究内容		
教出	○ 「にっぽんのうた みんなのうた」として、共通教材や季節に合わせて取り扱う歌を掲載している。		
	学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材（共通教材： <input checked="" type="checkbox"/> 共）	
	1	鑑賞曲	・わらべうた「おちやらか」「なべ なべ」
		歌唱教材	<input checked="" type="checkbox"/> 共「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」
	2	鑑賞曲	・「ながうた「むしの 声」 ・日本の たいこ（「つがるじょっぱりだいこ」「さんさおどりの たいこ」「ごじんじょだいこ」「はちじょうだいこ」）
		和楽器	・たいこ
		歌唱教材	<input checked="" type="checkbox"/> 共「かくれんぼ」「虫の こえ」「夕やけ こやけ」「春が きた」 ・「村まつり」
	3	鑑賞曲	・日本や世界の子どもの歌「十五夜さんのもちつき」
		歌唱教材	<input checked="" type="checkbox"/> 共「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」
	4	鑑賞曲	・「さくら変そう曲」 ・「ソーラン節」 ・「秩父屋台ばやし」 ・「葛西ばやし」
		和楽器	・こと ・しめだいこ ・大だいこ（長どうだいこ） ・ふえ ・かね ・おおどう ・つけだいこ
		歌唱教材	<input checked="" type="checkbox"/> 共「さくら さくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 ・「ソーラン節」
	5	鑑賞曲	・「会津磐梯山」 ・「音戸の舟歌」 ・「津軽じょんがら節」 ・「花笠音頭」 ・「日光和楽おどり」 ・「磯節」 ・「郡上八幡の盆踊り」 ・「佐渡おけさ」 ・「金毘羅舟々」 ・「木曾節」 ・「三国節」 ・「ひえつき節」 ・「長唄「越後獅子」から」 ・「京の夜」
		和楽器	・こきりこ ・ささら ・三線 ・しの笛
		歌唱教材	<input checked="" type="checkbox"/> 共「こいのぼり」「子もり歌」「冬げしき」「スキーの歌」 ・「こきりこ節」 ・「谷茶前」
6	鑑賞曲	・「春の海」	
	和楽器	・こと ・尺八 ・雅楽の楽器（ふき物、ひき物、打ち物） ・三味線	
	歌唱教材	<input checked="" type="checkbox"/> 共「おぼろ月夜」「われは海の子」「越天楽今様」「ふるさと」	

○ 共通教材は「こころのうた」とし、「歌いつごう日本の歌」として、季節や自然にまつわる歌を掲載している。

学年	鑑賞曲・和楽器・歌唱教材（共通教材：共）	
1	鑑賞曲	・「さんちゃんが」 ・「おおなみ こなみ」
	歌唱教材	共「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 ・「おちやらか ほしい」
2	鑑賞曲	・「とーしん ドーイ」 ・「ずいずい ずっころばし」 ・「あんたがた どこさ」
	歌唱教材	共「かくれんぼ」「虫の こえ」「夕やけこやけ」 「はるが きた」 ・「なべ なべ そこ ぬけ」
3	鑑賞曲	・「神田囃子「投げ合い」」 ・「祇園囃子」 ・「ねぶた囃子」
	和楽器	・長胴だいこ ・しめだいこ ・かね ・しのぶえ
	歌唱教材	共「春の小川」「茶つみ」「ふじ山」「うさぎ」
4	鑑賞曲	・「こきりこ」 ・「アイヌ古式舞踊」 ・「西馬音内の盆踊」 ・「相模里神楽」 ・「那智の田楽」 ・「壬生の花田植」 ・「讃岐獅子舞」 ・「長崎くんちの龍踊」 ・「こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より」 ・「津軽じょんから節」 ・「ていんさぐぬ花」
	和楽器	・こきりこ ・びんざさら ・たいこ ・笛 ・ぼうささら ・くわがね ・つづみ ・こと ・三味線 ・三線
	歌唱教材	共「さくら さくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」
5	鑑賞曲	・「春の海」 ・「ソーラン節」 ・「かりぼし切り歌」 ・「江差追分」 ・「宮城長持歌」 ・「佐渡おけさ」 ・「網のし歌」 ・「鈴鹿馬子歌」 ・「音戸の舟歌」 ・「祝いめでた」 ・「牛深ハイヤ節」 ・「月ぬ美しや」
	和楽器	・こと ・尺八
	歌唱教材	共「こいのぼり」「冬げしき」「スキーの歌」「子もり歌」
6	鑑賞曲	・雅楽「越天楽」
	和楽器	・笛・小鼓・大鼓・太鼓・太棹三味線・細棹三味線・三線
	歌唱教材	共「おぼろ月夜」「ふるさと」「われは海の子」「越天楽今様」

教芸

【音楽】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦ 題材や資料等の配列
方 法	○ 表現領域における系統的な扱い

発行者	調査・研究内容																								
教出	<p>歌唱</p> <p>○ 第2学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱を導入している。 【二部合唱曲（部分合唱含む）】</p> <table border="1"> <tr> <td>第2学年</td> <td>「春が きた」「ラララ 歌おう」</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>「ドレミの歌」「この山光る」「マンガニ、雨とおどろう」 「音楽のおくりもの」「まっかな秋」</td> </tr> <tr> <td>第4学年</td> <td>「ありがとうの花」「プパポ」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「グッデー グッバイ」「半月」「北風こぞうの寒太郎」「まきばのこうし」「飛べよツバメ」「札幌の空」「さんぽ」</td> </tr> <tr> <td>第5学年</td> <td>「夢色シンフォニー」「花」「ハロー・シャイニング ブルー」 「地球の向こう側の君へ」「冬げしき」「スキーの歌」「君をのせて」「川はだれのもの?」「大切なもの」「ゆき」「Auld Lang Syne (ほたるの光)」</td> </tr> <tr> <td>第6学年</td> <td>「つばさをください」「ぼくらの日々」「明日を信じて」「ふるさと」「Take Me Home, Country Roads」「さようなら」「語りあおう」「すてきな友達」「未来への賛歌」「あおげばとうとし」「花は咲く」「野にさく花のように」</td> </tr> </table> <p>○ 第5学年から三部合唱を導入している。 【三部合唱曲（部分合唱含む）】</p> <table border="1"> <tr> <td>第5学年</td> <td>「花のおくりもの」「Michael, Row the Boat Ashore (こげよマイケル)」</td> </tr> <tr> <td>第6学年</td> <td>「ワイ バンバ」「ロック マイ ソウル」「チャウエ チチョー チェム チェロ」「今、生きている!」「Climb Ev'ry Mountain (すべての山に登れ)」</td> </tr> </table> <p>器楽・音楽づくり</p> <p>○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器</p> <table border="1"> <tr> <td>第1学年</td> <td>タンブリン、すず、カスタネット、けんぱんハーモニカ、トライアングル、シンバル、ハーモニカ、おおだいこ、こだいこ、てつきん、もつきん</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>ウッドブロック、クラベス、たいこ、オルガン、マラカス、ギロ、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>リコーダー、カウベル、クラベス</td> </tr> <tr> <td>第4学年</td> <td>しめだいこ、大だいこ（長どうだいこ）、ふえ、かね、シェーカー、アゴゴー、フロートム、こと、ボンゴ</td> </tr> <tr> <td>第5学年</td> <td>こきりこ、ささら、三線、しの笛</td> </tr> </table>	第2学年	「春が きた」「ラララ 歌おう」	第3学年	「ドレミの歌」「この山光る」「マンガニ、雨とおどろう」 「音楽のおくりもの」「まっかな秋」	第4学年	「ありがとうの花」「プパポ」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「グッデー グッバイ」「半月」「北風こぞうの寒太郎」「まきばのこうし」「飛べよツバメ」「札幌の空」「さんぽ」	第5学年	「夢色シンフォニー」「花」「ハロー・シャイニング ブルー」 「地球の向こう側の君へ」「冬げしき」「スキーの歌」「君をのせて」「川はだれのもの?」「大切なもの」「ゆき」「Auld Lang Syne (ほたるの光)」	第6学年	「つばさをください」「ぼくらの日々」「明日を信じて」「ふるさと」「Take Me Home, Country Roads」「さようなら」「語りあおう」「すてきな友達」「未来への賛歌」「あおげばとうとし」「花は咲く」「野にさく花のように」	第5学年	「花のおくりもの」「Michael, Row the Boat Ashore (こげよマイケル)」	第6学年	「ワイ バンバ」「ロック マイ ソウル」「チャウエ チチョー チェム チェロ」「今、生きている!」「Climb Ev'ry Mountain (すべての山に登れ)」	第1学年	タンブリン、すず、カスタネット、けんぱんハーモニカ、トライアングル、シンバル、ハーモニカ、おおだいこ、こだいこ、てつきん、もつきん	第2学年	ウッドブロック、クラベス、たいこ、オルガン、マラカス、ギロ、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ	第3学年	リコーダー、カウベル、クラベス	第4学年	しめだいこ、大だいこ（長どうだいこ）、ふえ、かね、シェーカー、アゴゴー、フロートム、こと、ボンゴ	第5学年	こきりこ、ささら、三線、しの笛
	第2学年	「春が きた」「ラララ 歌おう」																							
	第3学年	「ドレミの歌」「この山光る」「マンガニ、雨とおどろう」 「音楽のおくりもの」「まっかな秋」																							
	第4学年	「ありがとうの花」「プパポ」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「グッデー グッバイ」「半月」「北風こぞうの寒太郎」「まきばのこうし」「飛べよツバメ」「札幌の空」「さんぽ」																							
	第5学年	「夢色シンフォニー」「花」「ハロー・シャイニング ブルー」 「地球の向こう側の君へ」「冬げしき」「スキーの歌」「君をのせて」「川はだれのもの?」「大切なもの」「ゆき」「Auld Lang Syne (ほたるの光)」																							
	第6学年	「つばさをください」「ぼくらの日々」「明日を信じて」「ふるさと」「Take Me Home, Country Roads」「さようなら」「語りあおう」「すてきな友達」「未来への賛歌」「あおげばとうとし」「花は咲く」「野にさく花のように」																							
	第5学年	「花のおくりもの」「Michael, Row the Boat Ashore (こげよマイケル)」																							
	第6学年	「ワイ バンバ」「ロック マイ ソウル」「チャウエ チチョー チェム チェロ」「今、生きている!」「Climb Ev'ry Mountain (すべての山に登れ)」																							
	第1学年	タンブリン、すず、カスタネット、けんぱんハーモニカ、トライアングル、シンバル、ハーモニカ、おおだいこ、こだいこ、てつきん、もつきん																							
	第2学年	ウッドブロック、クラベス、たいこ、オルガン、マラカス、ギロ、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ																							
第3学年	リコーダー、カウベル、クラベス																								
第4学年	しめだいこ、大だいこ（長どうだいこ）、ふえ、かね、シェーカー、アゴゴー、フロートム、こと、ボンゴ																								
第5学年	こきりこ、ささら、三線、しの笛																								

器楽

○ 合奏曲の配列

第2学年	「汽車は 走る」「チャチャ マンボ」「アンダルコの 歌」
第3学年	「メロンの気持ち」「せいじゃの行進」「パフ」「ミッキーマウス マーチ」
第4学年	「ラ クンパルシータ」「魔法のすず」
第5学年	「茶色の小びん」「風とケーナのロマンス」「ルパン三世のテーマ」「レッツゴー!!ライダーキック」
第6学年	「マルセリーノの歌」「カノン」「L-O-V-E」「ウエンセスラスはよい王様」「八木節」「さんぽ」

歌唱

○ 第3学年から部分二部合唱を導入し、第4学年から二部合唱を導入している。

【二部合唱曲（部分合唱含む）】

第3学年	「歌おう 声高く」
第4学年	「いろいろな木の実」「ゆかいに歩けば」「もみじ」「いつだって!」「世界を旅する音楽室」「花束をあなたに」「Sing a rainbow」
第5学年	「Believe」「すてきな一歩」「いつでもあの海は」「夢の世界を」「冬げしき」「スキーの歌」「それぞれの空」「地球へ」「君は虹を見たかい?」「大空がむかえる朝」「ほたるの光」
第6学年	「つばさをください」「ペガサス」「おぼろ月夜」「思い出のメロディー」「きっと届ける」「Wish～夢を信じて」「いのちの歌」「明日という大空」「星空はいつも」「あおげばとうとし」「旅立ちの日に」

○ 第5学年から三部合唱を導入している。

【三部合唱曲（部分合唱含む）】

第5学年	「こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)」「マイ バラード」
第6学年	「星の世界」「ふるさと」「街にだかれて」

教芸

器楽・音楽づくり

○ 各学年で扱う打楽器及び旋律楽器

第1学年	カスタネット、タンブリン、けんぱんハーモニカ、トライアングル、すず、ウッドブロック、てっきん
第2学年	クラベス、小だいこ、大だいこ、オルガン、キーボード、木きん
第3学年	リコーダー、ギロ、しめだいこ
第4学年	マラカス、ボンゴ、コンガ、フレームドラム、トーンチャイム、シンバル、こと
第5学年	サスペンデッドシンバル、カバサ、カウベル、アゴゴ

器楽

○ 合奏曲の配列

第1学年	「こいぬの マーチ」
第2学年	「こぐまの 二月」「アイアイ」
第3学年	「ゆかいな木きん」「パフ」「エーデルワイス」 「ミッキーマウス マーチ」
第4学年	「茶色の小びん」「ジッパ ディー ドゥー ダー」 「スーパーカリフラジリスティックエキスピアドーシャス」
第5学年	「リボンのおどり(ラバンバ)」「キリマンジャロ」「威風堂々」 「アフリカン シンフォニー」
第6学年	「ラバーズ コンチェルト」「雨のうた」「木星」「風を切って」 「Paradise Has No Border」

【音楽】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑧ 〔共通事項〕の指導を充実させる工夫
方 法	○ 音楽を形づくっている要素の示し方と指導の工夫

発行者	調査・研究内容
教出	<p>○ 見開き右ページ上に「音楽のもと」として示し、中・高学年にはメモ欄がある。</p> <p>【歌唱「ふじ山」(第3学年)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「せんりつのリズムを手で打つなどして、♪・♪♪♪ のリズムで始まるだとそうでないだんを見つけよう。」「それぞれのだんの、せんりつの流れを手で表してみよう。」と示している。 <p>○ 資料として、〔共通事項〕の内容を、「音楽のもと」まとめに示している。</p> <p>【鑑賞「バイオリンとピアノのためのソナタ 第4楽章」(第6学年)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まず、せん律の流れに合わせて手などを動かしたり、楽器のひきまねをしたりしながら、曲の最初の部分をきいてみよう。」と活動を示すとともに、「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「楽器を決めてひきまねをしたりしながら、曲全体をきいてみよう。」と示している。
教芸	<p>○ 見開き右ページ下に示している。</p> <p>【歌唱「ふじ山」(第3学年)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストの吹き出しの中で「いちばん高い音はどこにあるのかな。楽譜のせんりつを指でたどって見つけよう。」と示している。 <p>○ 「ふり返りのページ」に、各学年で学習した音楽を形づくっている要素を、関連するページ番号とともに示している。</p> <p>【鑑賞「ハンガリー舞曲 第5番」(第6学年)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」のマークを付け、「下の注目するポイントに気を付けて、音楽に合わせて体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきき、アとイの曲想について、感じたことや気付いたことを下の表に書いて、話し合いましょう。」と示している。

【音楽】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨ 表現及び鑑賞領域における言語活動の工夫
方 法	○ 音楽科の特質に応じた言語活動の具体例

発行者	調査・研究内容
教出	<p>【音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動】</p> <p>題 材「アンサンブルのみりよく」(第6学年) 学習目標「思いや意図を大切にしながら、みんなで表現をくふうしよう」 教 材 曲「ぼくらの日々」</p> <p>○ 表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付けて学習過程を示し、①「どんな曲かな?曲のみりよくを見つけよう。」の中で「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」と示している。⑤「自分たちの表現をめざそう。」では、「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、「もっとこうしたいな」と思うところを話し合おう。」と示している。 <p>○ 音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習過程⑤「自分たちの表現をめざそう。」において、「たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろためしてみよう。(例)パートどうしの音量のバランスなど」と示している。 <p>【音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動】</p> <p>題 材「音楽のききどころ」(第4学年) 学習目標「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」 教 材 曲「ノルウェー舞曲 第2番」</p> <p>○ 音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。」と示している。 ・きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表を掲載している。 <p>○ 自分の感じ方や考え方等を深めていく場面の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなど思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」と示している。

【音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた歌唱の活動】

題 材「詩と音楽との関わりを味わおう」(第6学年)

学習目標「人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。」

教 材 曲「ふるさと」

- 表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面の設定
 - ・「見つける」のマークを付け、「歌詞をよく読み、曲想を感じ取りながら歌って、それらの特徴について気付いたことを話し合ひましょう。」と示している。
 - ・「考える」のマークを付け、「話し合ったことをもとに、歌い方をためしながら、「ふるさと」をどのように歌いたいかを考えましょう。」と示している。
- 音楽表現に対する思いや意図を深めていく場面の設定
 - ・「歌う」のマークを付け、「思いが伝わるように、発音の仕方や声の出し方に気を付けて、たがいの歌声をよくきき合ひながら歌いましょう。」と示している。

教 芸

【音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた鑑賞の活動】

題 材「せんりつの重なりをかんじとろう」(第3学年)

学習目標「せんりつの重なりを楽しみながら、きいたり歌ったりしましょう。」

教 材 曲「「アルルの女」第1組曲から かね」

- 音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面の設定
 - ・「考える」のマークを付け、「アとイのかんじのちがいや気づいたことをメモし、友だちとつたえ合ひましょう。」と示し、「かんじたこと」と「気づいたこと」を書くための表を掲載している。
- 自分の感じ方や考え方等を深めていく場面の設定
 - ・「考える」のマークを付け、「せんりつが重なるよさやおもしろさをかんじとりながら曲全体をききましょう。」と示している。